

令和5年度ブロック会議 大会宣言等

令和5年度ブロック会議は9月以降3地域において開催され、そのうち次の地域において、大会宣言、大会決議等が採択されました。

採択された内容については以下の通りです。

(1) 10月27日(金)開催 南関東ブロック会議

なお、南関東ブロック会議の開催をもちまして、令和5年度全専各連ブロック大会は終了いたしました。

ご参加くださいました皆様方に御礼申し上げます。

※9月以前に開催されたブロック会議における大会宣言、大会決議等については、プラス Web <9月30日発行(No.199)版>をご覧ください。

(1) 10月27日(金)開催

南関東ブロック会議 【会場】埼玉県；ロイヤルパインズホテル浦和

第64回 南関東ブロック会議 第1分科会(専門学校部会)決議文

およそ3年半に亘るコロナ禍においても我々専修学校・各種学校は実践的な職業教育の手を緩めることなく専門職人材の育成に取り組んできた。しかしコロナが収束しつつある今、デジタル競争力の低下、成長分野に資する高度専門人材の確保、生産年齢人口の減少等の影響により、日本の国力が深刻な状況に陥りつつあることが指摘されている。

こうした我々を取り巻く環境が厳しさを増す中であって、本ブロック会議 専門学校分科会では、「職業教育の更なる質の保証に努め、社会や時代のニーズに沿った専門職人材を育成・輩出すること」が、実践的な職業教育を担う専門学校としての責務であることを再認識した。その上で、専修学校・各種学校が抱える諸課題の解決や、発展と振興に資する支援が図られるよう以下の事項について決議し、全国専修学校各種学校総連合会と連携して国および地方自治体等へ働きかけ、その実現を図るものとする。

1. 職業実践専門課程の充実と振興

文部科学省の「専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議」にてとりまとめられた「今後の専門学校における職業実践専門課程制度の充実に向けて」を基軸として、教育の質の更なる保証と社会的信頼度の向上に努めること。また、特別交付税措置と地方自治体における確実な財政支援によって、同課程の振興を確実に進めること。

2. DX人材の育成と教育機関におけるDX化の推進

今後、業種や職種の枠を越えて社会から希求されるDX人材に必要な知識・技能を明確化し、その人材育成に係るノウハウを確立すること。また、専門学校における教育や学校運営に係るDX化の推進を念頭に置いた支援を求めていくこと。

3. 留学生の受け入れ拡充と確実な支援の実現

来るべき生産年齢人口の減少を踏まえ、日本社会での就労・活躍を切望する外国人留学生の受け入れを積極的かつ計画的に進めること。また、新たに創設された「外国人留学生キャリア形成促進プログラム認定制度」に基づき、認定を受けた専門学校を卒業する外国人の就労を確実に支援すること。

4. 社会人の学び直し(リスキリング)に対する的確な対応

日本の企業の99.7%が中小企業であることに鑑み、当該企業からの需要を十分に踏まえた学び直し(リスキリング)の環境構築に向けて、短期・夜間・通信といった多様な学習手法を検討すべく、関係省庁との連携を強化するとともに、講座開設に係る財政的支援を求めていくこと。

5. 高等教育機関としての平等な対応・支援の実現

専門学校が高等教育機関の一翼を担っていることに対する社会の理解促進・認知度向上を目指し、公文書などにおいて『大学・専門学校等』と表記されるよう求めるとともに、大学等の経常費補助に係る格差是正を果たすべく働きかけを続けていくこと。

第 64 回 南関東ブロック会議 第 2 分科会（高等課程部会）決議文

1. 令和 5 年 7 月 26 日全国知事会の「令和 6 年度国の施策並びに予算に関する提案・要望」の実現

「高等専修学校が安定的な教育活動を行えるよう、その運営に必要な経費に対して、国の責任において補助制度の創設や、特別交付税など地方財政措置の創設など、十分な財政支援措置を講ずること」の実現に全力を尽くす。

2. 高等専修学校の社会的認知の向上と魅力発信

中学生、その保護者、中学校教員にとって、高等専修学校が進路の選択肢の一つとして位置付けられるよう、理解推進と魅力発信に努める。